

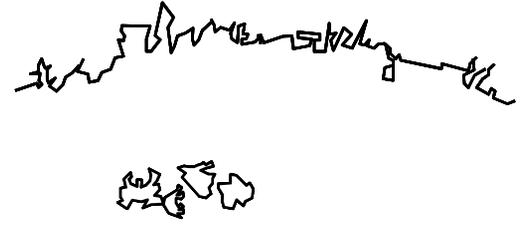
# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 2 号)

平成29年10月26日発行  
 兵庫のみ研究所

風波による海水混合や降雨による陸水等の影響もあり、この海域全般に栄養塩は平年より高くなっています。窒素は地先漁場で  $6 \mu\text{g at} / \text{L}$  以上、沖合漁場で概ね  $5 \mu\text{g at} / \text{L}$  以上となっています。前回調査で確認された大型珪藻コシノディスカスは大きく減少しており、それ以外の珪藻もほとんど確認されない状況です。

(栄養塩、珪藻) コシノディスカスは地先漁場で海水 1L あたり 10 細胞前後、沖合漁場で 30~100 細胞と減少している (10/13 調査: 1L あたり 300~500 細胞)。それ以外の珪藻は前回調査同様、地先・沖合漁場共にほとんど見られない。家島海域のナベ・池之浜漁場のサンプルにおいて夜光虫が確認された。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.3	9.5	3.7	3.3
	リン	0.41	0.78	0.53	0.54
家島・坊勢	窒素	3.1	5.8	4.5	7.5
	リン	0.47	0.74	0.60	0.86

(10/10.13) (10/25)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年10月26日調査

